

そこが聞きたい!



須藤典夫議員

合併なき町の活路は

須藤典夫議員 4月に松田前町長の意を引き継ぎ、町長に立候補。同僚との激戦のうえ、当選。「全町に光をあてる」とする選挙公約を掲げ、全地区で座談会を実施。そこで出た小さな声は「先行き不安」を訴える町民の声だった。

本年度予算の一般会計は29億円。20年前に逆戻り、国の財政悪化で交付金削減の一途にある。
須藤議員 経営悪化による診療所の赤字額は3月の年度末までどれぐらいのぼるのか。
町長 12月議会でも5、000万円の追加補正をお願いし、あと、2、000万円か、3、000万円位になるかと思われま



岸綾子議員

岸綾子議員 平成14年度発足の「農林水産物地産地消推進委員会」は、これまで大きなフィールドの中の事業に止まっていなかった。加工品の種類・技術開発研究にメスを入れ、内需拡大を図るべきではないか。

町長 これまで実施した合同物産市、伝統料理展示試食会、大沼デパート金山町フェア、青空市の産直販路拡大に積極的に取り組んで金山をアピールできた評価している。

これからは、加工品の新しい開発に着目し、21年度新たに設置される県立農業大学の加工科で学ばれた方が加工技術の高いものを極めていけるのではと考えている。

質問 農業から活路を

回答 生産拡大に積極支援

は、施設の改修にさえ「金が無い」と職員の口からこぼれるのもしかたがない。夏の青空市に「農産物も人もどっさり集まった」。金山の元気を見てほっとしたのもつかの間「診療所の経営が悪化」。またもや「町民座談会」。

最上8市町村は将来の町民、村民を守るために「広域合併に活路を見いだすべき」奔走。町長は将来ビジョンの不透明さから、早々に合併を否定、「最上は一つ」が泡と消えた。
孤立する私たちがやるべきことは一方で鮮明になった。「金がない」なら徹底した行政改革し、いつでも必要な事業に借金ができる

財政状況に一刻も早くしなげればならない。そして、町の将来を希望あるものにしてほしい。
町長 米の販路拡大として沖縄県を考えています。また、飼料米生産も始めます。園芸振興では「ニラ」の販売を3億円に。「ネギ」を1億円目標に、集中的な支援をしていきます。

農業法人、認定農業者に対しては「認定農業者通信」を発行し、必要な事業情報をスピーディに伝えていきます。

畜産農家へは「家畜衛生指導事業」を継続し、高品質の肉用牛の安定生産、出荷を支援していきます。
産直農家への支援は金山の農業振興に果たす役割が大きいことから、「青空市」をさらに、充実、拡大させ、地産地消を推進していきます。

診療所の赤字は

須藤議員 経営悪化による診療所の赤字額は3月の年度末までどれぐらいのぼるのか。
町長 12月議会でも5、000万円の追加補正をお願いし、あと、2、000万円か、3、000万円位になるかと思われま

質問 地場産加工品の開発で内需拡大を

回答 県立農大加工科の新設に期待

「青空市」のこれからどうする
岸議員 町長のマニフェストとして掲げ、8月に実施された「青空市」の成果をどう評価し、今後どのように展開していくお考えか。

町長 産直活動未経験の若い女性や高齢の方を含む28人の出店があり、推定総売上額は21万円ほどであった。自家栽培の野菜や穀物を町民の方々に買っていただく触れ合いの喜びと同時に現金収入が得られた喜びもあつたとの感想が寄せられている。

21年度は、開催時期・回数・種目等について、出店希望の方々と事前の打ち合わせをし、内需拡大を目指しての町民へのお知らせ、外貨獲得面では金山応援団へのダイレクトメール送付

等、あらゆる努力を重ねる。

「神室温泉友の会」拡大策は
岸議員 松田前町長が、女性の声を受けて平成15年12月に即実行に移してくださった「神室温泉友の会」勧誘と特典利用者の動向は満足できる状況にあるか。

町長 温泉経営側と利用者双方に有利な形として継続に努力している。5年経過した現在のカード発行枚数は981枚、年200枚にあたり、特典としての食事券利用は1,300件、となっている。

町の施設としてもっと利用していただきたいので、「会員制度恩典」について一層PRに努める。

「バード碑」次世代継ぐ策を
岸議員 文化薫るまちを

謳うわが町の誇り「イザベラバードの碑文」につき、次世代に引き継ぐ教育を新任の教育長に期待するが。
教育長 「バード」が桃源郷と絶賛した街並みの美しさは景観づくり100年運動の礎になるものであり、小学校では英語活動等に、中・高では明治時代の金山学習や英語教育で、社会教育では「バードの道トレッキング」や当時の食事作り研究など、可能性を探りたい。



イザベラバード碑に立つ